

第4回 日本フォスターケア研究大会

『改正児童福祉法』

～理念改正を踏まえた里親養育の実践～

開催日

2017年12月16日(土) 受付開始 10:00~16:50

開催場所

オリンピック記念青少年総合センター[センター棟]311号室



大会主旨 社会的養育における家庭養育・家庭的養育に関する調査研究を行い、会員をはじめ、社会的養育の関係者が一堂に会し、研究討議することにより、フォスターケアの充実発展に寄与することを目的として、日本フォスターケア研究大会を開催します。本研究大会は、研究者のみならず、家庭養育の担い手や児童相談所、施設等の職員、自立したユース、学生など広く関係者に会員となっただき、フォスターケアに関する調査・研究の発表を行うとともに、実践者等現場の生の声を聴きながら協働してフォスターケアの充実発展に資するものとしします。

JaFCA 大会プログラム 2017.12.16



1. 基調講演 津崎 哲郎

[10:50~12:00]

『改正児童福祉法』

～理念改正を踏まえた里親養育の実践～

- 津崎 哲郎 養育里親、元大阪市中央児童相談所長、現在関西大学客員教授、NPO法人〈大阪〉児童虐待防止協会理事長。

内容 基調講演、シンポジウムや養育家庭、ファミリーホーム、研究者、会員、支援者、自立後のユースによる体験発表、分科会での研究発表等を広く予定しております。

- 主催：日本フォスターケア研究会
- 協力：公益財団法人 全国里親会
- 参加費：会員 [無料] 学生 [2,000円] 非会員 [3,000円]
- * 会員大募集中!! 『会員』年会費 [3,000円]
- 会場：オリンピック記念青少年総合センター[センター棟]311号室
東京都渋谷区代々木神園町3-1 Tel: 03-3647-7210
アクセス1：小田急線 [参宮橋] 駅 徒歩8分
アクセス2：千代田線 [代々木公園] 駅 徒歩10分

2. シンポジウム

[13:00~14:20]

『これからの家庭養育のあり方等について』

代替養育は原則として永続的解決策までの一時的なものであり、家庭復帰に向け家庭環境調整などが必要である。これからの家庭養育においては、児童相談所や包括的里親支援事業の実施機関などと協働しつつ家庭復帰に向けたチーム養育をする必要があり、そのあり方について検討する。

- コーディネーター 小林 真理子
- シンポジスト 奥田 晃久、岡 聡志、矢内 陽子

- 小林 真理子 元山梨県児童相談所長、現在山梨英和大学副学長、人間文化学部教授。
- 奥田 晃久 元東京都児童相談所長、現在明星大学教育学部 教育学科 特任教授。
- 岡 聡志 元横浜市児童相談所長、現在横浜市こども青少年局こども福祉保健部 職員。
- 矢内 陽子 里親支援専門相談員。社会福祉法人唐池学園「ドルカスベビーホーム」職員。

3. 研究発表

- * 詳しくは裏面をご参照ください。

4. ユース『大いに語る!!』

- コーディネーター ～ユース代表で調整中～
- 内容 成長発達する課程で「何が必要だったのか」「何が支えだったのか」「何があったから可能になったのか」等、彼らに向けて「どうであったら良かったと思うか」率直な意見を聞く。